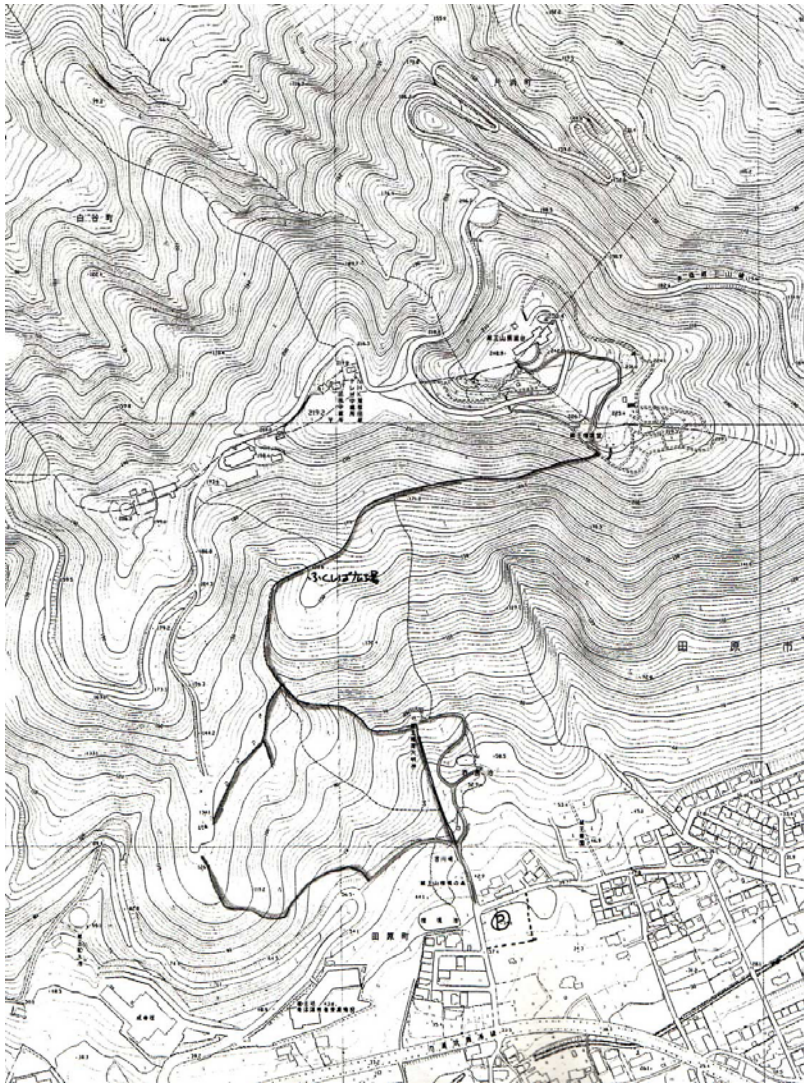
蔵王山の登山コース



自然保護憲章

・自然をとうとび、自然を愛し、自然に親しもう。
・自然に学び、自然の調和をそこなわないようにしよう。
・美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう。

昭和４９年６月５日制定

2005年　定例自然観察会

蔵王山・権現の森の自然観察

キランソウ

3月13日(第1回)

主催:NPO法人東三河自然観察会
後援:田原市・田原市教育委員会

早春の草花たち

まだ風が冷たい早春の雑木林に咲き競う草花を特に「春の妖精（スプリング　エフェメラル）」と呼んでいます。まだ、雑木林の木々の葉が展開する前は、林床部にまで日が差します。そんな一時期（長くて２ヶ月ほど）一斉に花を咲かせ、木々の若葉が展開し終わる晩春には地上部が枯れ、休眠期に入る草花たちです。

雪国では雪解けと同時に動きだしますが、三河の平野部では雪が積もらないので徐々に活動が始まり、一斉にたくさんの草花が開花する様子はなかなか観察されません。

華やかな草花が目立ちますが、地味でもしっかり自己主張している植物もあります。どんな植物が見られるでしょうか。

カテンソウ

カンアオイ

ニオイタチツボスミレ

ジロボウエンゴサク

タチツボスミレ

ショウジョウバカマ

センボンヤリ

ヒメハギ

フモトスミレ

マキノスミレ

「センス・オブ・ワンダー」より

（レイチェル・カーソン著、上遠恵子訳）

地球の美しさと神秘を感じとれる人は、科学者であろうとなかろうと、人生に飽きて疲れたり、孤独にさいなまれることはけっしてないでしょう。たとえ生活のなかで苦しみや心配ごとにであったとしても、かならずや、内面的な満足感と、生きていることへの新たなよろこびへ通じる小道をみつけだすことができると信じます。

地球の美しさについて深く思いをめぐらせる人は、生命の終わりの瞬間まで、生き生きとした精神力をたもちつづけることができるでしょう。